

ほし組だより

令和2年10月1日(木)

尚徳福祉会 井荻保育園



10月号



自分の意思が出てきて少しずつ身の回りの事に興味が出てきたり「自分で」と主張する姿も増えてきました。自分のことが出来るようになってきた子どもたちは視野も広がり、他者（お友達）の存在や遊びにも興味が出て来ています。今月は、お友達とやりとりの機会をたくさん持ち、保育士が一人一人の気持ちを代弁し伝え、関わり方を知らせていきたいと思ひます。

10月のわらい

自分と友だち（相手）がいることを知ろう

今月の活動

今月のうた

・どんぐりころころ

・大きな栗の木の下で

室内

★手先を使って遊ぼう★

着脱への更なる意欲へと繋がるよう、ボタンやスナップなどを掛ける玩具、紐通し、積み木やブロックなど指先を使って集中して遊ぶ事で指先の機能を育てていきます。

また、じっくり遊ぶ事は集中力を付けたり、おしっこを溜め、排尿間隔を伸ばしていくことにも繋がっていきます。

（遊びに集中している時は膀胱が尿を溜めています。この、膀胱に尿を溜め、排尿間隔を伸ばすというトレーニングをしていくことがトイレトレーニングです。）

★ごっこ遊びを楽しもう★

ままごとや電車ごっこ、ドライブごっこ等、子どもたちが生活の中で見たり体験したことを再現（真似っこ）して表現遊びを楽しんでいきます。また、ごっこ遊びの中でお友達と玩具や言葉のやりとりを経験することでコミュニケーションの楽しさを伝えていきます。

お知らせ

9月末で退園しました。

新しいお友だちが入園しました。

よろしくお願いいたします。

10月生まれのおともだち



健康

朝夕は冷え、日中との気温差が大きい季節でもあり、子ども達も大人も体調を崩しやすい季節です。一日の中でも気温に合わせて衣服の調節を行い、大きく体調を崩す事がないようにしていきたいと思ひます。

戸外では

★体をたくさん動かして遊ぼう★

幼児クラスの運動遊びに興味を示しています。かけっこを真似っこしたり、新たな体操をみつけたり、体を使って遊ぶことの楽しさを伝えていきたいと思ひます。また、園庭など広いスペースで自分の興味関心に向かって歩いたり、思いっきり走ったりと、自分の力で色々な事を試す中で、自分の体をうまくコントロールする力を養っていきます。

★秋の自然を探そう★

秋のさわやかな風を感じながら園庭での探索、ワゴン・歩行散歩を楽しむ中で、夏からの秋への変化に気付いていけるようにします。葉っぱの色づきや木の実などの自然物に触れたり匂いを嗅ぐなど五感を通して体験することで感覚機能を育てていきます。

～お部屋でおままごと遊びをしていた時の話です～

A君がコップをテーブルに並べていると、後から来たB君も同じものが欲しいと主張し取り合いになりました。保育士が隣で「Bくんも欲しいね。A君に“かして”って聞いてみようか」と言うと、B君の話も待たずに「だーめーよ」の返事が返ってきてしまいました。断られてしまったB君は怒っています。保育士が今度はA君に耳打ちして「B君も一緒に遊びたいのかな!?こっちにも同じのがあるからこれを“どうぞ”してあげたら?」と提案しました。するとA君はコップをB君に「どうぞ」と差し出し、二人で笑い合いながら遊び始めました。

ほし組の子ども達は今、お友だちへの関心が高くなっていて、お友だちと同じことをしたい、同じ物が欲しいという気持ちが強いんです。一歳時期の子ども達は、自分とは違う相手の存在や、相手にはどうやら自分とは違う気持ちや考えがあるらしいぞということに気が始める時期です。

しかし、まだ自己中心的な世界にいるのが1・2歳時期なので、自分の気持ちばかりになってしまい、思うように相手に伝わらないという事も多くあります。

その様な時、保育園では、大人が善悪や方向性を決めてしまうのではなく、ありのままの子どもたちの姿や表情を伝えるようにしています。自分の行為によって相手がどんな表情になっているかを伝えることで、小さな子ども達ですが何かを感じ、考え、気持ちを切り替えていくきっかけになると思っています。

感情が育っていく時期なので、快の気持ちだけでなく、怒ったり泣いたりする事も大切な感情表現の一つとして、安心して気持ち(感情)を十分出し切れるように働き掛けていきたいと思ひます。